

区 分	教職科目－ 教職に関する科目	担当教員	若林 義啓	授業形態	単独
授業科目名	情報科教育法 I				
英 訳	Information Study Education Methods I				
教員の免許状取得 のための必修科目	科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（高等学校 情報）			
	施行規則に定める 科目区分又は事項等	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）			
配 当 年 次	3年次 前期	必選別	自由科目	単位数	2 単位
【授業の到達目標及びテーマ】					
1 【学習指導要領における教科情報の目標と内容を理解する】					
(1) 情報教育の変遷と現在について理解している。					
(2) 学習指導要領が示す学習項目の本質及び目標を理解している。					
(3) 教科情報の学問や社会に対する位置づけを理解している。					
2 【高等学校での情報教育と指導方法についての知識を身につける。】					
(1) 科目「情報の科学」の内容に係わる背景と指導法を理解している。					
(2) 科目「社会と情報」の内容に係わる背景と指導法を理解している。					
(3) 他教科との連携や発展的な学習法に取り組むことができる。					
(4) 授業設計と評価方法について理解している。					
【授業の概要】					
高等学校の情報教育がどのような目標を持って設置され、変遷してきたかを学び、学習指導要領における教科情報の目標・内容を理解することで、この教科が目指す教育について理解する。教科「情報」の授業を構成していく上で基礎となる知識や技術を学び、情報活用力を育成するための指導方法を学ぶ。受講者は学習指導要領の項目について教材分析を行い、学習指導案に対応した授業設計を行う。					
【授業計画】					
第 1 回：教科情報の実態① 大学の情報基礎教育					
第 2 回：教科情報の実態② 高等学校の情報教育					
第 3 回：情報科の設置と変遷					
第 4 回：学習指導要領における情報教育					
第 5 回：情報教育を学ぶ1 情報活用の実践力とは					
第 6 回：情報教育を学ぶ2 小・中・高等学校の情報活用の実践力					
第 7 回：情報の科学的理解の指導法1 情報科学、問題解決、プログラミング					
第 8 回：情報の科学的理解の指導法2 情報検索、データベース					
第 9 回：情報社会に参画する態度の指導法1 情報モラル・情報倫理					
第10回：情報社会に参画する態度の指導法2 コミュニケーション、情報通信ネットワーク					
第11回：情報社会に参画する態度の指導法3 情報システムと社会					
第12回：学校教育における連携と協調					
第13回：評価計画と評価方法					
第14回：学習指導案1 指導案研究					
第15回：学習指導案2 授業設計、まとめ					
【テキスト】					
久野靖・辰己丈夫「情報科教育法 改訂3版」(オーム社)					
【参考書・参考資料等】					
「高等学校学習指導要領」、「高等学校学習指導要領解説—情報編—」(新学習指導要領)、高等学校情報教科書「高校社会と情報」(実教出版)、「最新情報の科学」(実教出版)					

【成績評価】

授業中の質疑応答・ディスカッションへの関心・意欲（60％）、課題（40％）の総合評価

【履修要件】

2年生までの教職課程の教職科目と情報系科目を修得していること。

区 分	教職科目－ 教職に関する科目	担当教員	若林 義啓	授業形態	単独
授業科目名	情報科教育法Ⅱ				
英 訳	Information Study Education Methods Ⅱ				
教員の免許状取得 のための必修科目	科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（高等学校 情報）			
	施行規則に定める 科目区分又は事項等	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）			
配 当 年 次	3年次 後期	必選別	自由科目	単位数	2単位
【授業の到達目標及びテーマ】					
1 【基礎的な学習指導理論と情報機器の効果的な活用法を理解する】					
(1) プレゼンテーションの手法が授業に効果的であることを理解している。					
(2) 学習者に合わせた教材作成と指導法の重要性を理解している。					
(3) 情報機器を効果的に活用した教材作成ができる。					
2 【学習指導案の構成を理解し、授業設計能力と実践的な指導力を身につける】					
(1) 実際の学習指導案から授業設計とその工夫を学び、授業改善の重要性を理解している。					
(2) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した学習指導案を作成することができる。					
(3) 模擬授業を行い、実践的な指導力を身につけるとともに、授業設計と教材の向上に取り組むことができる。					
【授業の概要】					
学習指導案の具体的な作成方法について学び、具体的な授業場面における学習指導案と教材の作成を行い、評価の観点と評価方法の決定など実践的な授業設計の方法を身につける。模擬授業を行い、実践的な指導力と授業改善に取り組む姿勢を身につけ、情報科教員に求められる資質を形成する。教材研究を行い、授業計画を立て、模擬授業を2回行う（2回目の模擬授業は完全な学習指導案を作成する必要がある）					
【授業計画】					
第 1回：教材設計とプレゼンテーション					
第 2回：学習者に合わせた教材作成と教育現場での著作権					
第 3回：スライド教材の作成1 スライドのデザイン					
第 4回：スライド教材の作成2 教材作成					
第 5回：模擬授業1 スライドを使った模擬授業 主体的な学びのために					
第 6回：模擬授業2 スライドを使った模擬授業 授業改善のポイント					
第 7回：学習指導要領と学習指導案					
第 8回：指導と評価の工夫					
第 9回：指導案の作成1 授業計画と単元について					
第10回：指導案の作成2 単元の目標、単元の評価規準					
第11回：指導案の作成3 単元の指導計画、学習の展開1					
第12回：指導案の作成4 学習の展開2、教材作成					
第13回：模擬授業3 学習指導案に基づく模擬授業 対話的な学びのために					
第14回：模擬授業4 学習指導案に基づく模擬授業 効果的な理解のために					
第15回：模擬授業5 学習指導案に基づく模擬授業 学習指導案の改善、まとめ					
【テキスト】					
久野靖・辰己丈夫「情報科教育法 改訂3版」（オーム社）					
【参考書・参考資料等】					
「高等学校学習指導要領」、「高等学校学習指導要領解説—情報編—」（新学習指導要領）、高等学校情報教科書「高校社会と情報」（実教出版）、「最新情報の科学」（実教出版）					

【成績評価】

授業中の質疑応答・ディスカッションへの関心・意欲（20%）、学習指導案（40%）、模擬授業（40%）の総合評価

【履修要件】

2年生までの教職課程の教職科目と情報系科目及び情報科教育法 I を修得していること。